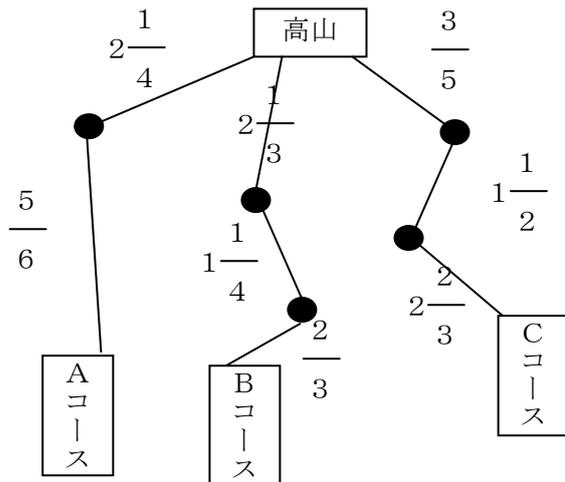


評価問題例

算数 分数のたし算とひき算

山登りをしています。次のコースで道のりがもっとも短いのは、どのコースでしょう。（単位はkmです。）



(式)

- Aコース
- Bコース
- Cコース

答え \_\_\_\_\_

(説明)

【振り返り】

- ①通分や整数部分・分数部分で比較することができた。（◎ ○ △）
- ②みんなに自分の考え方を説明できるようになった。（◎ ○ △）

評価問題のポイント

☆真分数や帯分数、そして3つの分数の加法を扱う問題である。通分や帯分数の大小比較等の既習内容を活用する必要がある。また、3つの分数の加法においては、3つの分数を通分することが必要となる。この問題は既習内容をさらに活用させる力を付けていく問題である。

- ・整数部分と分数部分とに分けて計算するか、仮分数に直して計算するか、どちらがより早く正確に計算できると判断するかがポイントとなる。
- ・3つの分数の加法では、3つを通分する（3つの分母の最小公倍数を見つける）ことがポイントとなる。
- ・大小比較の視点（整数部分・分母等）に着目して考え、説明することができるかがポイントとなる。

めあてに沿った自分の学びを振り返らせることで、児童にめあてを意識させることが大切であり、児童の実態や単元の流れに合わせためあての設定や提示の在り方を工夫していかなければならない。